

おすすめ本を しょうかい ご紹介します



2026

7

夏休み直前号 月号



1・2年生くらいから

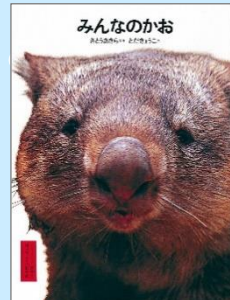


『どろんこハリー』

ジーン ジオン／ぶん マーガレット ブロイ グレアム／え
わたなべ しげお／やく 福音館書店

おふろにはいることだけは
だいきらい

ハリーは、おふろからにげだして、
こうじげんばで、どろだらけに。
ほんとうは、くろいぶちのある
しろいいぬなのに、しろいぶちの
あるくろいいぬになっちゃった！



『みんなのかお』

さとう あきら／写真 とだ きょうこ／文 福音館書店

じ〜っくり見てみよう

あなたのかおと、
おともだちのかおは、
いっしょかな？ちがうかな？
同じどうぶつたちのかおも
こんなにちがうよ。

3・4年生くらいから



『ねずみのとうさんアナトール』

イブ タイタス／文 ポール ガルドン／絵
晴海 耕平／訳 童話館出版

チーズの味みは
ねずみが1番！

人間の役に立ちたいと
チーズ工場にしのびこんだ
アナトール。
チーズがおいしくなる
アドバイスをカードに
書いておいてみると…？



『クモのアナンシ ジャマイカのむかしばなし』

フィリップ M.シャーロック／再話 マーシャ ブラウン／絵
小宮 由／訳 岩波書店

ちえ
クモだって知恵をつかうよ

アナンシは、ずるがしこいけど
にくめないクモ。
食べ物をひとりじめしたり、
トラやワニたちをだましたり。
でも、よくばりすぎて失敗する
ことも。
アナンシの楽しいおはなしが
15話のっているよ。

5・6年生くらいから



『クワガタクワジ物語』

中島 みち／著 偕成社

飼うってことは、
ぼくが守る命なんだ

3匹のクワガタをつかまえた
太郎は、クワイチ、クワジ、
クワゾウと名前をつけて
世話を始める。
限りある命の大切さを知り、
クワジとは三度の夏を過ぎて
いく。



『ひとしずくの水』

ウォルター ウィック／作
林田 康一／訳
あすなろ書房

水は「終わりのない旅」
を続けている

わたしたちにとって身近な水は、
水蒸気になって雲になり、雨つ
ぶとなって空から落ちてきて、
ずっと活動し続けている。
そんな水のいろいろなすがた
が写真で見られるよ。



編集：袋井市立袋井図書館